



Annual Report 2021



2021年次報告書



年次報告書

私たちのビジョン

世界の栄養需要を満たすために、
責任ある水産物の役割を理解する世界

私たちのミッション

GSAは教育、政策提言、第三者認証
を通じて責任ある水産物の拡大を行う
国際NGOです。

何年経っても夢中

親愛なるシーフード愛好家の皆さん。

アップル社の創業者スティーブ・ジョブズの有名な言葉に、「クレイジーな人たちがいる、反逆者、厄介者と呼ばれる人たち、四角い穴に丸い杭を打ち込むように物事を違った角度から見る人たち。彼らは人類を前進させる、自分たちが世界を変えられると思うほどクレイジーな人たちが、世界を変えるのだ。」というものがあります。

これが、25年前の設立以来、グローバル・シーフード・アライアンスを動かしてきた活動家精神と使命感なのです。皆様のご支援により、私たちは「できない」と言う人たちに臆することなく、最初の一步を踏み出しました。私たちはただ最初の一步を踏み出し、必要に応じて調整し、そして次の一步を踏み出しました。しかし、数十年が経ち、象徴的なリーダーが引退しても、GSAはこの文化と使命を維持できるのでしょうか？

2021年12月末、長年CEOを務めたウォーリー・スティーンズが退任し、COOのブライアン・パーキンスがその跡を継ぎました。GSAの25周年を迎える今、その精神と使命が健在であることをご報告します。ブライアンは、強力なコア・プログラムとエキサイティングな新しいイニシアティブで前進しています。そのいくつかをご紹介します。

GSA は、トレーサビリティ・システムの普及を促進するため、規格、システム、インフラを開発しています。これにより、バイヤー、規制当局、消費者は、産地と持続可能性に関する情報に即座にアクセスできるようになります。また、消費者は製品の背景にあるストーリーを知ることができます、素晴らしい物語を持っている水産物を知ることができます！

また、重要な分野におけるより高いレベルの達成を示すために、既存のBAP認証への「追加」として設計された、新しい最先端の「上位基準」も開発中です。

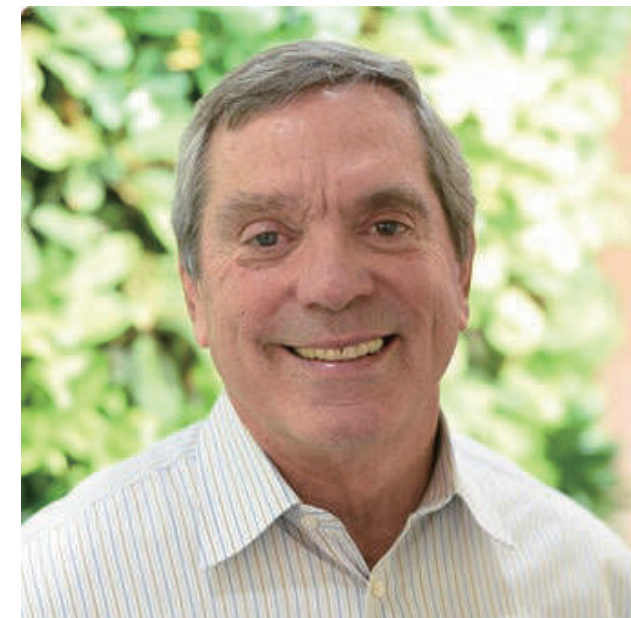
最後に、GSA は、教育・訓練に関する協力や、アジアにおけるブラックタイガーエビの小規模養殖の活性化、動物福祉の向上、水産廃棄物の回収と利用の改善、東部熱帯太平洋における絶滅寸前のハンマーヘッドシャークの保護などのプロジェクトを通じて、TCRS(The Center for Responsible Seafood)の使命を引き続き支援しています。

私たちは25年間で長い道のりを歩んできましたが、今でも世界を変えられると思うほどクレイジーなのです。水産物の生産が責任を持ってその可能性を最大限に発揮できるよう、お手伝いできることはたくさんあります。

いつもありがとうございます。

GEORGE W. CHAMBERLAIN

George W. Chamberlain



2021年の活動

1月

最初の漁船 (Antarctic Discovery) が責任ある漁船基準 (RFVS) の認証を取得



2月

メキシコのアース・オーシャン・ファーム社が世界初のトトアバの加工工場としてBAP認証を取得

江蘇省の養殖場 (Liyang Qianmatang Chenqiang Special Aquaculture Co. Ltd. が世界初のBAP認証のイエローキャットフィッシュ養殖場となる

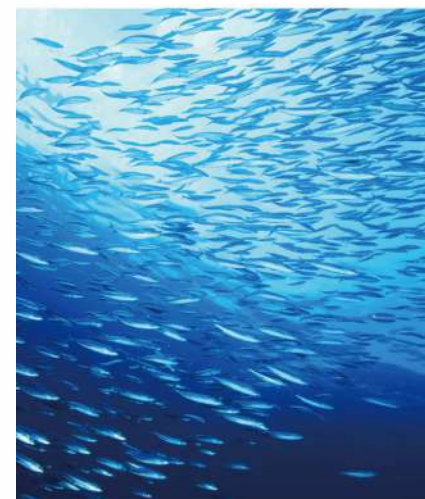


3月

GSAはドキュメンタリー 'Seaspiracy' に返答

BAP認証の軟体動物養殖基準1.1が必須に

BAP認証の養殖場基準3.0が一般公開



4月

GSAはTony Fadell氏と共にバーチャルGOALイベントの第一回を開催

GSAの理事会を初開催

英国籍の船舶で初めての責任ある漁船基準を取得

中国のJiangsu Kuntai Agricultural Development Co. Ltd. がtop-mouth culterとOriental river prawnの生産者として初めてBAP認証を取得

5月

Responsible Seafood Advocateは、アリゾナ大学の影響力のあるエビの病理学研究者、Donald Lightner氏に敬意を表する

Aquademiaは、「今日の養殖魚」キャンペーンチームと、科学的な領域におけるコミュニケーションの重要性について議論を行う



6月

BAPプログラムの社会的・労働的要求事項の有効性を測定する3年間の影響評価の結果と勧告を発表

Worldfishの栄養・公衆衛生担当Shakuntala Thilsted博士とSustainable Fisheries Partnership (SFP) の養殖プログラムディレクター、Jenna Stoner氏がGSAの基準監視委員会に参加

GAAの2020年次報告書をリリース

2021年の活動

7月

GSAとFishChoiceが戦略的パートナーシップを発表



8月

CAWM West Coast Marketが中国の食品卸売業者として初めてのBAPエンドーサーに

Yexiao Food & Catering Management Co. Ltd. がBAPへの支持を発表

GSAはバングラデシュの小規模エビ養殖業者を支援するため、バングラデシュ・シュリンプ・アンド・フィッシュ・ファウンデーションと提携

日本の石光商事株式会社がBAP認証を受けた養殖場・加工工場からの水産物の調達に取り組む。

9月

GSAはGAAからのリブランドの取り組みを完了し、新しいブランド・アイデンティティを発表

Dibaq Feed Millが自社飼料工場の1箇所でスペインおよび欧州で初めてBAP認証を取得



10月

Regal Springs TilapiaがBAP認証システムと直接統合したトレーサビリティを使用する世界初のティapia生産者に

日本のJCCUがBAP認証に賛同し、4つ星の smoked サーモンを展開



11月

フィリピンのRD Fishing社と Philbest社のマグロサプライチェーンが初めてのBSP認証を取得

MarinTrustとGSAが水産物の成分認証、デジタル化、保証に関する協力の覚書に調印



12月

GSAのCEOであるウォーリー・スティーブンスが退任し、ブライアン・パーキンスが就任。

BAPロゴの影響力、認知度についてChanging Tastes社が実施した市場調査の結果を発表しました。



新しいデザイン、新しい名前、 同じアプローチ

「私たちの組織は、進化と成長を続けています。GAAは正式にGSA(グローバル・シーフード・アライアンス)となり、水産業界における私たちのリーチを広げようとする歴史の大きな転換点となりました。世界をリードするBest Aquaculture Practices認証プログラムを構築するために取った同じアプローチ、また私たちのイベント、出版、教育コンテンツは、Best Seafood Practicesとともに私たちにとって刺激的な新しい世界へ適用されるでしょう。責任ある漁船を認証することから始まるこの新しい時代の事業を、私たちは世界中の商業漁業コミュニティの伝統と遺産に大きな敬意を払いながら行っています。私たちは、彼らとともに学び、成長していきたいと考えています。」



メンバーシップ

責任あるシーフードの推進は、私たちが朝起きる理由ですが、これほど大きな課題には協力が必要です

そのため、私たちはあなたのような養殖とシーフードの愛好家のためにメンバーシッププログラムを作りました。私たちのコミュニティに参加し、責任ある水産業の実践を教育し、提唱する私たちの活動を支援してください。

45+

企業メンバー

7,500+*

トータルメンバーシップ
プログラム*個人、企業、認証取得企業や
戦略的パートナーを含める。

LOURDES GANT

Manatee Holdings, The Business of Aquaculture Podcast | Canada

「GSA が提供するリソースは、業界で何が起こっているかを知るためだけでなく、先駆者たちと知り合うためにも非常に役立っています。GSAの専門家は、非常に寛大であるだけでなく、非常に協力的であることがわかります。私は、GSA の他のメンバーとオンラインでお会いしていますが、彼らは養殖産業における最高のメンターの一人であると考えています。」



COREY HAUGEN

Hawthorne Advertising | USA

「私が GSA に参加したのは、世界中の重要なタンパク源（漁業）を支援するために積極的に貢献したいと思ったからです。私は西海岸のワシントン州出身で、家族がノルウェー人であるため、魚介類は私の生活の一部となっています。」



MAKIKO KARASAWA

HK Sustainable Seafood Coalition | Hong Kong

「GOAL国際会議では、業界全体のあらゆる側面について講演者の話を聞くことができ、この組織の一員となって人々に働きかけ、他の人から学び、より持続可能で責任ある水産物サプライチェーンの確保に貢献することが非常に重要であることを実感しました。若い学生、特に女子学生には、未知の世界に挑戦することを勧めたいです。」

国連の持続可能な開発目標との整合性

国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」は、貧困を終わらせ、地球を守り、世界中のすべての人の生活と見通しを向上させるための普遍的な行動要請です。17の目標は、2015年にすべての国連加盟国によって採択され、目標達成のための15年計画を定めた「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の一部となりました。

今日、多くの場所で進展が見られますが、全体として、目標達成に向けた行動は必要なスピードや規模では進んでいません。そこで、水産物業界、そしてGSAという媒体が役割を果たさなければならないのです。



小規模なエビ養殖生産者の活性化

2021、GSAはバングラデシュ漁業省が世界銀行から資金提供を受けて実施した、小規模エビ養殖生産者とブラックタイガーの活性化を目指すプロジェクトでバングラデシュ・シュリンプ・フィッシュ・ファウンデーションとのパートナーシップを締結しました。このプロジェクトは、小規模生産者のクラスター形成を促進し、集団での収穫量を増やし、加工業者への直接販売を可能にするものです。また、国際規格への準拠を保証する第三者認証や、グレードA製品の生産を奨励する厳格な製品品質等級の採用を促進する予定です。このアプローチにより、優れた品質、国際認証、低カーボンフットプリントを備えた、大型で天然色素を持つブラックタイガーエビを得ることができます。これらのユニークな特性により、消費者の信頼と満足度の向上、国際市場でのプレミアム価格、小規模生産者への魅力的なリターン、そしてこの分野の持続的な発展が期待されます。



The Advocate Magazine

GSAのオンラインマガジン「Responsible Seafood Advocate」は2021年、陸上養殖、イノベーション、魚の栄養、海洋マイクロプラスチック、再生可能エネルギー、循環経済、炭素排出削減、修復型養殖、トレーサビリティ、海洋酸性化など、多くの重要テーマについてオリジナル特集記事を提供し、成功を収めました。

2021年の『Advocate』のページビューは、前年比19%増の150万ページビューを記録しました。読者はすべてのページで平均4分31秒を費やしました。Netflixの"衝撃的な"ドキュメンタリー「Seaspiracy」の報道は、66,000以上のビューを獲得しました。Advocate 誌は、引き続き GSA のウェブサイトへのアクセス数で NO.1 です。

150万

ページビュー

19%

前年からの増加

69,000

Seaspiracyに関する記事でのページビュー



水産物のプロフェッショナルのリードを獲得したい方。

客観性と誠実さをもってダイナミックに進化する業界をカバーするオンラインマガジン「Advocate」に広告を掲載することができます。Advocateは、業界関係者、研究者、市場関係者などにアピールするものです。

jim.batchelor@globalseafood.org

生まれ変わった、GOAL

この会議は、21年の歴史を持ち、世界中のシーフードのオピニオンリーダーを集めています。当初はGSOL（Global shrimp outlook for leadership）と呼ばれ、2001年にシンガポールで第1回が開催されました。2008年にGOAL（Global Outlook for Aquaculture leadership）、2020年にGOALと改称され、現在に至っています。責任ある水産物の国際会議として、天然漁業、海洋健康、気候変動がプログラムに組み込まれるようになりました。



現在、GOALは秋に3～4日間かけて行われる直接参加型のイベントを主する一連のバーチャルイベントで構成されています。2001年に100人以下だった参加者は、現在では500人を超え、さらに2020年と2021年には700～800人のバーチャル参加者が集まりますが、ミッションは変わらず、水産業界のリーダーに、日々のビジネスを離れて、学び、ネットワークと交流を深めるための非競争連携スペースを提供することです。GOAL2021では、技術、イノベーション、投資、COVID-19による水産物の調達と消費への影響、新製品開発、社会的説明責任と労働者の声、気候変動、飼料の持続可能性、グリーンファイナンスといったトピックが扱われました。



水産業界をより責任ある未来に導くためのあなたの組織のコミットメントを紹介したいですか？

GOALカンファレンスにご協賛いただくと、業界のリーダーたちと直接交流することができます。

jim.batchelor@globalseafood.org

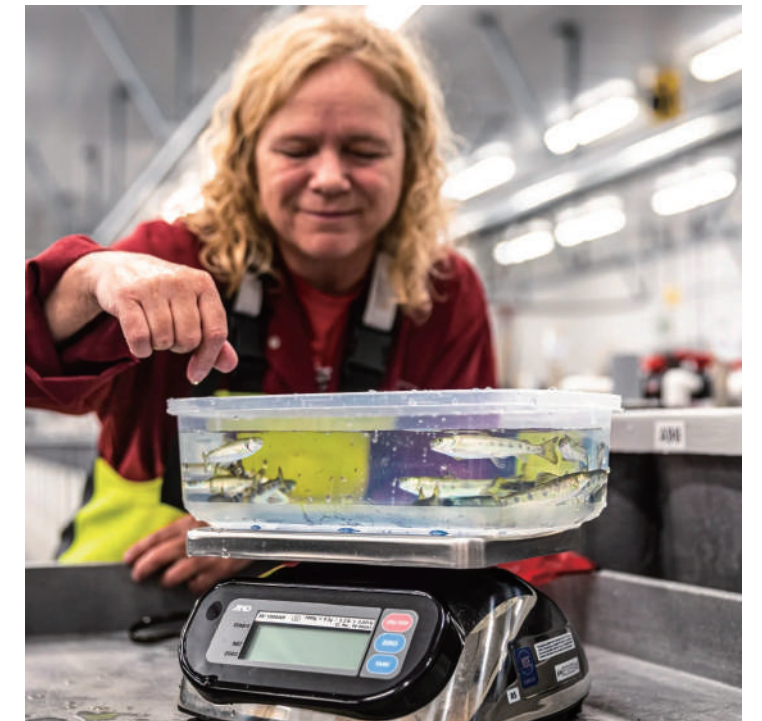
責任ある水産物への声

2020年、グローバル・シーフード・アライアンスは、GSAとそのメンバーを責任あるシーフードの代弁者としてさらに位置づけるため、AIベースのニュース収集ツールを使ったメディアモニタリングとアウトリーチプログラムを開始しました。その成果もあり、2021年にはGSAとその関連ブランドは、2020年から43%増となる2,500件以上のメディア言及を獲得しました。この2,500件以上のメディア言及は、数十のオンラインメディアで210億インプレッション以上に相当します。

GSAは、年間を通じてEメールを使ってキャンペーンの進捗を視聴者に報告しています。

Aquademia ポッドキャスト

Aquademiaポッドキャストは、2021年も視聴者を増やし続け、各エピソードの平均ダウンロード率は27%増加しました。このユニークな資産は、世界中の何千人もの人々に32のエピソード、つまり1500分を超える質の高いオーディオコンテンツを提供しました。25人の影響力のあるゲストにインタビューし、コンテンツの範囲を拡大し、より天然水産物に焦点を当てたトピックを取り入れ、リリーススケジュールを隔週から毎週に変更しました。アクアデミアは、シーフード業界のトップポッドキャストと言われ続け、2022年に向けて放送範囲を拡大しながら、世界中の視聴者に届き続けています。



HISTORY & GROWTH

ADVOCACY & EDUCATION

DEMONSTRATION

MARKET RESEARCH INSIGHTS

BAP プログラム

困難な時期であっても、業界の献身と責任ある水産物生産・調達の証として、BAP認証、第三者認証プログラムは、2021年に約9%の伸びを示しました。これは、養殖業者が、環境や社会的責任、動物の健康や福祉、食品安全性など、あらゆる面で持続可能性に取り組んでいることを物語っています。



93.6%

認証維持率

3,169

2021年末時点の合計認証施設数

8.6%

生産者の対前年比伸び率

飼料工場



ふ化場



養殖場



加工工場



漁業



漁船



グローバルインパクト



30万人

BAP認証施設での
従業員合計

39カ国

認証取得国数

234億食

BAP認証水産物を使用し
て提供された食事数
(4oz、約113gを
一食に使用と仮定)

30魚種

認証取得魚種数



施設タイプ別件数



484

加工工場と再加工工場

by volume 2,657,551 トン



2211 施設

養殖場（休閑地を含める）

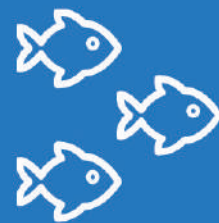
by volume 3,027,309 トン



150 施設

飼料工場

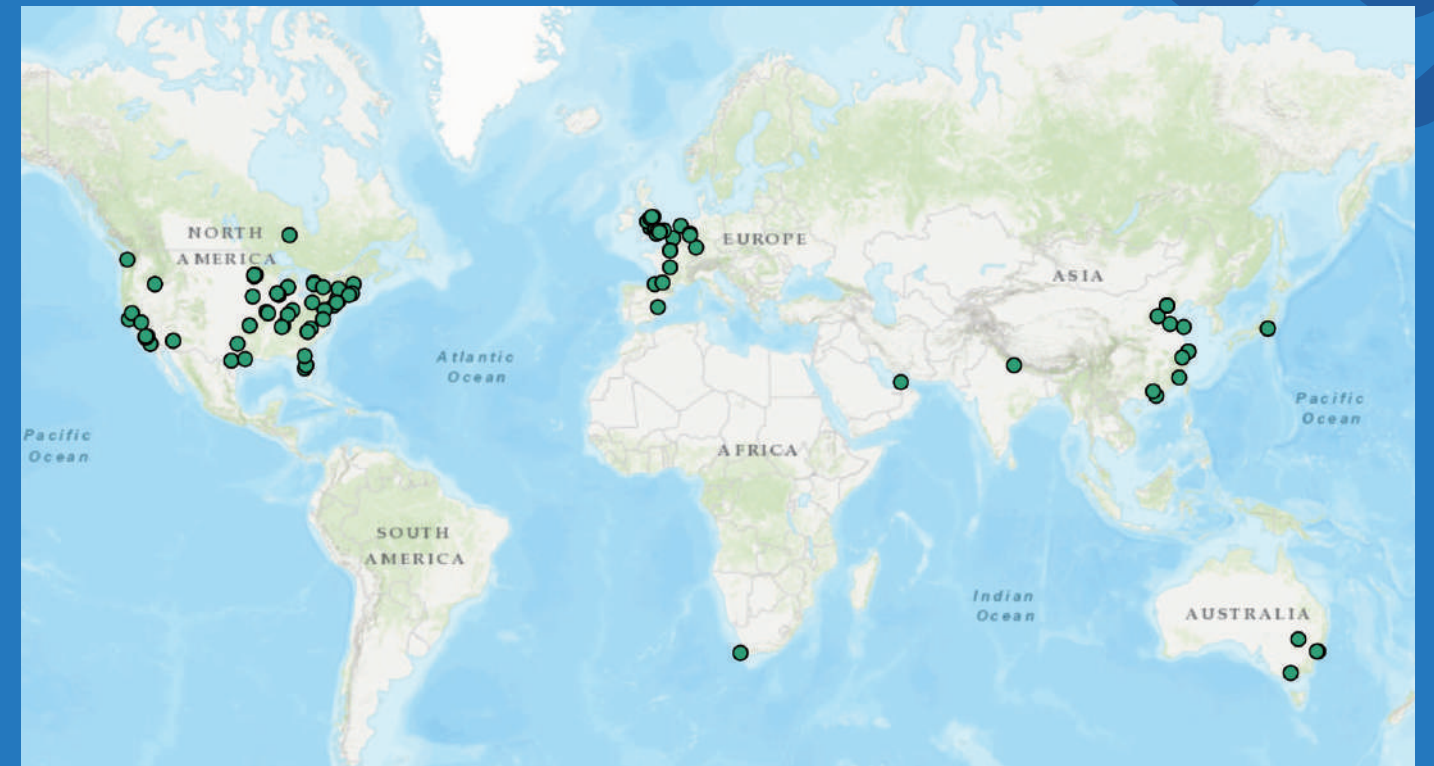
by volume 8,890,507 トン



324 施設

ふ化工場

BAP認証のマーケットエンダーサー





消費者は環境ラベルを 購入の判断材料にしている

Changing Tastes社が2021年に米国の成人消費者3,000人と外食産業の購買意思決定者400人を対象に行った調査によると、肉食を控えた消費者が好むのは水産物であることがわかりました。また、BAP認証ラベルのようなエコラベルが、消費者が購入する水産物や、よく利用するスーパーやレストランに対する「認識」に影響を与えていることもわかりました。実際に、責任ある水産物の生産を促進するエコラベルは、米国の消費者が他の製品よりも、ある製品を、あるいは他のブランドよりもあるブランドを選ぶよう、より多くの影響を及ぼしていることが調査から明らかになりました。

このウェビナーでは、この調査結果の概要をより詳しく説明します。

米国の消費者の46%が、BAPラベルを表示する小売企業に好感を抱いている

64%の消費者が、他のタンパク質よりもBAPラベルの付いた製品を選ぶと回答している

BAPラベルの認知度が最も高いのはミレニアル世代

ミレニアル世代の約半数が、水産物を購入する店舗でBAPラベルの付いた水産物を扱っていれば、その店舗をより好ましく思う

BSP プログラム

BSP (Best Seafood Practices) プログラムは、2021年に開始され、責任ある漁業と認証加工工場（水産加工基準）および認証漁船（責任ある漁船基準）を結びつけることができる世界で唯一の第三者認証制度です。



**2021年末は
27漁船が認証を取得済み**

飼料工場

ふ化場

養殖場

加工工場

漁業

漁船

HISTORY & GROWTH

ADVOCACY & EDUCATION

DEMONSTRATION

MARKET RESEARCH INSIGHTS



パートナー、サポーターの声



DOMINIQUE GAUTIER

Director of Sustainability, Seafresh Group

Seafresh Groupは、水産物業界の改善を推進・支援するグローバルで重要な役割として、GSAを支持しています。



MR. JUN WANG

Manager of Supply Chain Management Division, CAWM

CAWNは、食の安全に焦点を当て、GSAと共同で業界の発展を促進し、世界の水産物貿易に貢献することを目指しています。



MR. SATOSHI MATSUMOTO

Seafood Program Manager / Sustainability Strategy Dept.
/ Brand Strategy Division, Japanese Consumers' Co-operative Union

日本生活協同組合連合会は、水産物を主原料とする商品の供給高(販売額)に占める水産エコラベル付き商品の構成比を2030年度までに50%以上を目標に拡大していくことをコミットメントしています。世界で責任ある水産物のためのベストプラクティスをめざすGSAの活動について、以前より注目してきましたが、2021年10月にプライベートブランドのコープ商品にBAPロゴマークを付けて発売することができました。今後も持続可能な水産物の生産と消費のために、GSAとの協同の取り組みが発展することを期待しています。



WILLIAM DAVIES

Sustainable Sourcing and CSR Manager, The Big Prawn Co. Ltd

The Big Prawnは、養殖のライフサイクル全体と、天然魚の供給源に至るまで密接に連携しており、GSAの認証制度を取得しているサプライヤー（養殖場、漁船、加工工場、ふ化場、飼料工場）は、非常に有能だと考えています。また、業界の監督や協働プラットフォームに関するGSAの取り組みも高く評価しています。



GSA 理事会

- **Eric Bloom**, Eastern Fish Co., Inc
- **Rittirong Boonmechote**, Thai Union Group
- **Joe Chekouras**, Mazzetta Company
- **George Chamberlain**, Global Seafood Alliance
- **Marcus Coleman**, Seafish
- **Tony Downs**, Sysco Corp.
- **John Galiher**, Lineage Logistics
- **Laura Garrido**, Pescanova USA
- **Nelson Griffin**, Red Lobster Seafood Co.
- **Bill Herzig**, Sustainable Strategies & Initiatives
- **Robert Jones**, The Nature Conservancy
- **Allen Kimball**, Trident Seafoods
- **Santhana Krishnan**, Maritech
- **Arni Mathiesen**, Government of Iceland
- **Robins McIntosh**, Charoen Pokphand Foods Public Co., Ltd
- **Gorjan Nikolic**, Rabobank
- **Ron Patton**, Grobest Global Service Inc.
- **Brian Perkins**, Global Seafood Alliance
- **Tom Pickerell**, Global Tuna Alliance
- **Jeff Sedacca**, Sterling Caviar
- **Terry Stachowiak**, Rich Products
- **Wally Stevens**, Global Seafood Alliance
- **Daniel Underkoffler**, Sam's Club
- **Jennifer Wandler**, US Foods

基準監視委員会

- **Dr. Alejandro Buschmann**, Research and Development Center of Coastal Resources and Environments
- **Birgitte Krogh-Poulsen**, Independent Social Development Consultant
- **Dan Lee**, Standards Coordinator
- **Dr. David Little**, University of Stirling
- **Kathy Janiga**, FSQ Mark Foods, Inc
- **Ken Corpron**, Global Seafood Alliance
- **Kim Thompson**, Aquarium of the Pacific
- **Lukas Manomaitis**, U.S. Soybean Export Council
- **Patrick Blow**, Marks and Spencer
- **Dr. Simon Bush**, Wageningen University
- **Tyler Isaac**, Monterey Bay Aquarium
- **Dr. Shakuntala Haraksingh Thilsted**, Worldfish
- **Jenna Stoner**, Sustainable Fisheries Partnership
- **Duncan Leadbitter**, Fish Matter
- **Mike Park**, Scottish Whitefish Producers Association
- **Toby Middleton**, Marine Stewardship Counsel



私たちは順調です

GSAのビジョンステートメントは、この堅牢な年次報告書の最上部に掲載されており、明確かつシンプルなものです。「世界の栄養需要を満たすために、責任ある水産物の役割を理解する世界」です。このビジョンを確実に実現することが、私たち「組織」としての役割です。

その実現に近づいているのでしょうか？皆さんが思っているよりも近いところにいます。

Advocate誌の読者やGOALの常連なら、気候変動、水産養殖の病気、違法漁業、企業の責任など、信じられないような障害についてご存じでしょう。気候変動、水産養殖の病気、違法漁業、企業の責任など、100年後も水産業が存続するために、水産養殖業が取り組み、克服しなければならないさまざまな障害についてご存知でしょう。また、水産業が直面している一見克服できないような課題には、「解決策」があることもおわかりいただけたと思います。それは、「革新的な思考」「地域間の知識共有」「新技術」「メッシュの視点と外部からの専門知識」に根ざしているのです。

先日、ポルトガルのリスボンで開催された国連海洋会議で、私は人の形をした解決策に囲まれていることに気づきました。そこでは、若手からベテランまで、さまざまな起業家たちが、海洋という惑星が直面する重要な課題に取り組んでいたのです。エネルギーとコラボレーションの精神が感じられました。しかし、もし情熱的な人々だけが海を守るために必要なのだとしたら、私たちはどうすればいいのでしょうか。世界的な産業のために世界的なレベルで変化を起こすには、情熱だけでなく、慎重さ、実用性、忍耐、根気も必要なのです。

私はまだ GSA の舵取りを始めて 1 年目ですが、このグループが果たすべき役割と、最初の 25 年間に達成した成果を非常に誇りに思っています。より良い、より責任ある水産業を構築するためには、漁業者、養殖業者、消費者のいずれであっても、私たち全員が役割を担う必要があります。あなたの役割を受け入れてください。

BRIAN PERKINS





**85 NEW HAMPSHIRE AVE
SUITE 200
PORTSMOUTH, NH 03801**

(603) 317-5000

INFO@AQUACULTUREALLIANCE.ORG

WWW.AQUACULTUREALLIANCE.ORG | WWW.BAPCERTIFICATION.ORG

日本語ページ <http://japan.bapcertification.org/>

